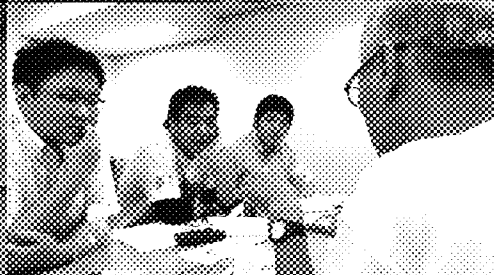


重要

認定NPO法人大阪精神医療人権センター

2019年度 権利擁護システム研究会 参加者募集



Supported by
 日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

大阪精神医療人権センターでは、「社会をかえる」という価値観に従い、政策提言活動や精神疾患、精神障害に対する差別、偏見をなくすための啓蒙活動を行い、安心してかけられる精神医療の実現を目指しています。権利擁護システム研究会では、それぞれの立場を超えて議論し、研究会の開催のみならず、意見書・要望書の作成、人権センターニュースの発行や講演会の企画、院内集会の開催等取り組んでいます。2019年度は、日本の精神医療の中でも、重大な問題である「長期入院」をテーマとします。本研究会では、「長期入院をなくす」ために、長期入院の現状・課題・原因を理解したうえで、その解決策を検討します。

キーワード：長期入院、任意入院、重度かつ慢性、社会的入院、エンパワーメント、権利擁護

募集要領

第1回	2019年 7月6日(土) 午後1時～午後4時30分
	テーマ：日本の精神医療の長期入院の現状、課題、原因
第2回	2019年 10月26日(土) 午後1時～午後4時30分
	テーマ：長期入院の問題を解決するために① (医療・福祉／地域・病院の視点から)
第3回	2019年 12月22日(日) 午後1時～午後4時30分
	テーマ：長期入院の問題を解決するために② (医療・福祉／地域・病院の視点から)
第4回	2020年 1月25日(土) 午後1時～午後4時30分
	テーマ：まとめ

* 講師や会場の都合等との関係で日時変更の可能性あります。

会場

大阪市内

定員

20名

コーディネーター



竹端寛さん

(兵庫県立大学)

参加費

参加登録費3,000円
+ 資料代1,000円/回

期間

2020年5月まで

募集条件

- ① 大阪精神医療人権センターの会員の方(ただし、申込時点では、会員ではない方も、研究会への参加が決まった後、会員申込していただければ問題ありません。)
- ② 当センターの目的に賛同し、日本の精神医療の現状をかえたいと考えている方
- ③ 研究会全4回のうち、3回以上の出席ができる方
- ④ 事前の資料検討や終了後、アンケートや感想(400～600字程度)の提出にご協力いただける方

参加特典

- ① 各研究会への参加又は発表
- ② 2019年度 権利擁護システム研究会のMLへの参加
- ③ 研究関連テーマに関し人権センターニュースへ寄稿



申込方法

2019年5月20日(月)までに、大阪精神医療人権センターのウェブサイトからお申込ください。

参加の可否は、2019年5月23日(木)までにEメール又は電話にて事務局から連絡させていただきます。定員を超えるお申込みがある場合は、参加申込の理由等の申込情報から、事務局にて選考させていただきます。



<http://bit.ly/2IFg3C6>

 **検索** 大阪精神医療人権センター
<http://www.psy-jinken-osaka.org/>

過去の権利擁護システム研究会テーマ

医療保護入院(2017年度)、精神医療審査会(2018年度)、身体拘束(2018年度)

*過去の研究実績等は、人権センターニュースにて確認できます。一部のコンテンツは、大阪精神医療人権センターのウェブサイト又はフェイスブックにて無償で公開しています。



権利擁護
システム
研究会
2019

各研究会では、発表者や外部講師の方の発表の後、グループにわかれて、意見交換を予定しています。

権利擁護システム研究会の研究テーマに関する記念講演会を2020年5月に予定しています。